

# 令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	2年	類型	普通科
単位数	4単位	教科書	NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATIONⅡ	出版社	増進堂		
副教材	ワークブック、予習ノート、リスニングCD						

学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。また、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養います。
授業の概要	ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ. 聞いたこと、読んだこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったりする。 エ. 聞いたこと、読んだこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

	学期	単元	教材	学習内容	評価の観点			
					①	②	③	④
年間学習計画	1学期	Chapter 1	Sakura Michi	受け身/関係代名詞/ 関係副詞where・when	○	○	◎	○
		Chapter 2	Learning English	現在完了形 / 省略 / S+V(be動詞以外の動詞)+C	○	○	◎	○
		Chapter 3	Interview with Rosa Parks	SVOC(C=現在分詞) / 不定詞の受け身 / 疑問詞+to 不定詞 / 関係代名詞what	○	◎	○	○
		Chapter 4	Communication Breakdown	分詞構文 / itとoneの違い / 不定詞の否定 / 仮定法過去・仮定法過去完了	○	◎	○	○
	2学期	Chapter 5	Rise Again, Motala!	関係代名詞の非制限用法 / 助動詞+have+過去分詞 / 完了形の受け身 / It costs(takes)+～+to 不定詞	○	○	◎	○
		Chapter 6	A Delicious Japanese Culture: Bento	I wish+仮定法 / 助動詞を含む受け身 / 分詞の後置修飾(過去分詞) / 完了不定詞	○	◎	◎	○
		Chapter 7	Palm Oil from Diamond Island	動名詞の意味上の主語 / 無生物主語 / 未来進行形 / 進行形の受け身	○	◎	○	○
		Chapter 8	I Made It!	大過去 / SVOC(=原形不定詞)/ 強調構文 / 形容詞+to不定詞	○	○	◎	○
	3学期	Chapter 9	If I Hadn't Met...	前置詞+関係代名詞 / 関係副詞の非制限用法 / 付帯状況を表すwith / 形式目的語it	○	◎	○	○
		Chapter 10	Silk Leaf	The problem is that～ / asの用法 / couldの用法 / 未来完了形	○	◎	○	○

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準			
①	②	③	④
○ コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ○ 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	○ 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。 ○ 情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ○ 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。	○ 英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。 ○ 英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	○ 英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解している。 ○ 言語の背景にある文化を理解している。
評価の方法			
(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト・定期考査			

# 令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年	2	類型	普通科
単位数	2	教科書	DUAL SCOPE English Expression II	出版社	数研出版		
副教材	DUALSCOPE High School English デュアルスコープ総合英語						

学習の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するとともに、事実や意見などについて多様な観点から考察したうえで、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。
授業の概要	<p>ア 与えられた話題について、即興で話したり、また、伝えたい内容を整理して論理的に話したりします。</p> <p>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書きます。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表します。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりします。</p> <p>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合います。</p>

	学期	単元	教材	学習内容	評価の観点			
					①	②	③	④
年 間	1 学 期	SECTION 1 STAGE 1	Expressing Using Different Grammar					
		UNIT 1	Deciding the Subjects of	一般の人々／非人称のitなど	○	◎	○	◎
		UNIT 2	Deciding the Subjects of	句・節／意味上の主語	○	◎	○	◎
		UNIT 3	Deciding the Subjects of	無生物主語／名詞構文	○	◎	○	◎
		UNIT 4	Using the Correct Forms of Verbs(1)	現在時制・過去時制／未来を表す表現	○	◎	○	◎
		UNIT 5	Using the Correct Forms of Verbs(2)	進行形／完了形	○	◎	○	◎
		UNIT 6	Using the Correct Forms of Verbs(3)	助動詞／受動態	○	◎	○	◎
		UNIT 7	Using the Correct Forms of Verbs(4) using verbs with	仮定法	○	◎	○	◎
		UNIT 8	Objects or Complements(1) using verbs with	準動詞の名詞的用法	○	◎	○	◎
		UNIT 9	Objects or Complements(2) using verbs with	文型	○	◎	○	◎
学 習 計 画	2 学 期	UNIT 10	Objects or Complements(2)	使役動詞／知覚動詞	○	◎	○	◎
		UNIT 11	Modifying Nouns(1)	分詞／不定詞／同格	○	◎	○	◎
		UNIT 12	Modifying Nouns(2)	関係詞の制限用法	○	◎	○	◎
		UNIT 13	Modifying Nouns(3)	関係詞の非制限用法／複合関係詞	○	◎	○	◎
		EXTRA UNIT 1 & 2	Nouns & Articles	名詞、冠詞	○	◎	○	◎
		EXTRA UNIT 3 BONUS UNIT	Adjectives & Prepositions	形容詞、前置詞	○	◎	○	◎
		STAGE 2	Expressing on Different Topics					
		UNIT 14	What Is Your Dream?	目的の表現／夢・目標	○	◎	○	◎
3 学 期	3 学 期	UNIT 15	How's School Going?	程度・結果の表現／学校生活	○	◎	○	◎
		UNIT 16	Will You Join Our New Club?	原因・理由の表現／興味・関心	○	◎	○	◎
		UNIT 17	Volunteering Is a Lot of Fun	否定の表現／自然・環境	○	◎	○	◎
		UNIT 18	New Smart-X On Sale	比較の表現①／技術・文明	○	◎	○	◎
		UNIT 19	Welcome to Kyoto	比較の表現②／日本文化・国際理解	○	◎	○	◎
学 期	3 学 期	UNIT 20	Recruitment of New Employees	条件・仮定の表現／言語・コミュニケーション	○	◎	○	◎
		UNIT 21	Appealing to the World	否定の表現／自然・環境	○	◎	○	◎
		Tips for Expression① &②	Japanese English Words to Note		○	◎	○	◎

※「評価の観点」欄の数字は、下記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を付けている。

評価の観点及び評価規準			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
○ モデル文に関心を持ち、読もうとしている。 ○ 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 ○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	○ 自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることができる。 ○ 適切な発声で、プレゼンテーションを行うことができる。 ○ 学んだ文法・表現を使って、文を書くことができる。	○ 発表者や発言者の言ったことを、正しく聞き取れる。 ○ つなぎの言葉の使い方を理解している。 ○ パラグラフの構成を理解している。	○ いろんなトピックについて、内容を理解することができる。 ○ それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し、知識として定着させている。
評価の方法			
(a) 授業中の活動(b) 発表(c) 課題の提出(d) 小テスト・定期考査等で評価します。			